

水道のことは水道局まで ☎ 83-4111

水とくらし



夏から秋にかけて、水源の水が原因で水道水からカビ臭がすることがあります。臭いが発生する原因と水道局が行う対応について紹介します。

◎カビ臭が発生する原因は？

水源としている湖沼や河川の水温が上がることで、植物プランクトンの藍藻類等が大量に繁殖し、カビ臭の原因物質を産生するため、原水にカビや墨汁のような臭いがつきます。

◎臭いが分かる基準は？

水質基準値では、水道水 1ℓ あたり 10ng (ナノグラム) 以下となっています。この原因物質には毒性はありません。臭いに敏感な人は、原因物質が 1ℓ あたり 3ng を超えると感じる場合があります。

※ 1ng は 10 億分の 1g です。

◎水道局の対応について

カビ臭が発生した場合、浄水場では通常の浄水処理に加え、原因物質を取り除く粉末活性炭を注入します。この工程により、カビ臭が気にならない、おいしく飲める水道水を作っています。